

# 目的・内容・方法

活動の目的(ねらい)はなに？



## (1) ガイドラインの趣旨

## (2) 放課後等デイサービスの基本的役割

## ○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

## ○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

## ○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行うこと

## (3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

## ① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行う。  
「他者との信頼関係の形成の体験」「人と関わることへの関心」「コミュニケーションをとることの楽しさ」「葛藤を調整する力」「主張する力」「折り合いをつける力」基本活動には、自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを組み込むこと。「保護者・関係機関との連携」

## ② 基本活動

## ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通じた成功体験」「自己肯定感を育む」

## イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

## ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

## エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

## (4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

## ① 適切な支援の提供と支援の質の向上

- 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。
- 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保 + 習得意欲喚起
- 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

## ② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

- 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。
- 事業所が、地域社会からの信頼を得るため、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

## ③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

- 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定
- 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

## 提供すべき支援

発達支援

本人支援

移行支援

家族支援

地域支援

## 本人支援

- 健康・生活
- 運動・感覚
- 認知・行動
- 言語・コミュニケーション
- 人間関係・社会性

# 5領域

## 健康・生活

ねらい

健康状態の維持・改善

生活リズムや生活習慣の形成

基本的な生活リズムの獲得

支援

・健康状態の把握  
・リハビリの実施  
・構造化（環境を整える）等

## 運動・感覚

ねらい

姿勢と運動・動作の向上

姿勢と運動・動作の補助的手段の活用

基本的な生活スキルの獲得

支援

・補助的手段の活用  
・保有する感覚の活用  
・感覚の特性（過敏や鈍麻）への対応等

## 認知・行動

ねらい

認知の発達と行動の習得

空間・時間、数等の概念形成の習得

対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得

支援

・感覚や認知の活用  
・認知の隔たりへの対応  
・行動障害への予防及び対応等

## 言語・コミュニケーション

ねらい

言語の形成と活用

言語の受容及び表出

コミュニケーションの基礎的能力の向上

コミュニケーション手段の選択と活用

支援

・受容と表出の支援  
・サイン等の活用  
・コミュニケーション機器の活用等

## 人間関係・社会性

ねらい

他者との関わり（人間関係）の形成

自己の理解と行動の調整

仲間づくりと集団への参加

支援

・アタッチメント形成  
・集団参加の支援  
・自己の理解とコントロールのための支援等

## I 生活単元学習とは

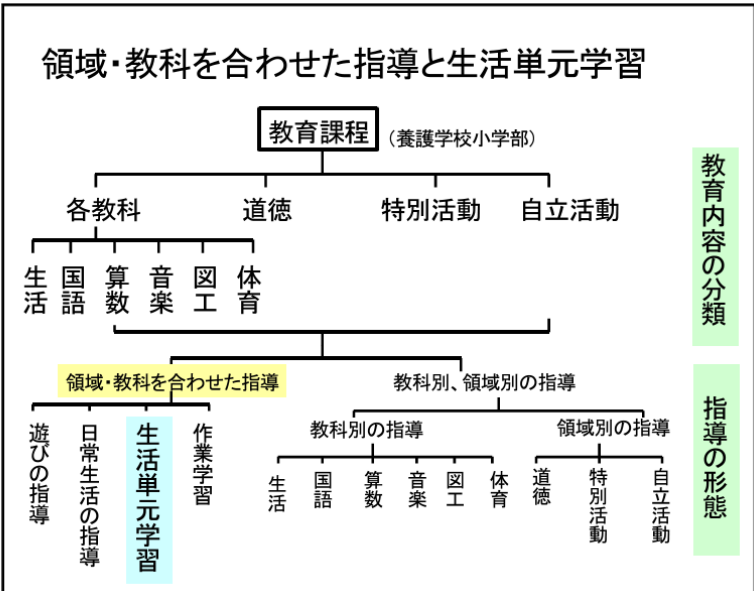
### 1 生活単元学習とは



生活上の課題処理や問題解決のための一連の目的活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際の・総合的に学習できるようにする指導の形態である。単元は、学校行事を中心としたもの、地域等の行事を中心としたもの、トピック的な出来事を中心としたものなどがある。指導計画は、単元の配列、指導内容、活動の場の設定、個別の目標、課題等について工夫して作成することが大切である。

(「盲・聾・養護学校教育の基本用語辞典」 明治図書 より抜粋)

### 2 教育内容の分類と指導の形態との関係 (下図:「生活単元学習指導の手引き」文部省S61より)



左図から分かるように、生活単元学習は領域・教科を合わせた指導の一形態であり、生活そのものを扱うことから領域・教科の内容を最も総合的に含み込むことが可能です。学校、学部、学年等によって配当時数に差はありますが、生活単元学習を週時程表に位置付けて取り組んでいることが多く見られます。また、同時期に行っている教科別の指導等との関連を図りながら生活単元学習の指導を行うことが効果的です。

## 自立活動の目標

個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。

### 特別支援学校学習指導要領に示されている自立活動の内容

自立活動の「内容」は、6区分26項目で示されており、その中から個々の児童生徒の障害の状態や発達の程度に応じて必要な項目を選定し、関連付けて具体的な指導内容を設定します。自立活動の「内容」の全てを指導するということではありません。

### 自立活動の内容の考え方

自立活動の「内容」は、「人間としての基本的な行動を遂行するための要素」と「障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服するために必要な要素」から構成されています。

### 1 健康の保持

- (1) 生活のリズムや生活習慣の形成に関する事
- (2) 病気の状態の理解と生活管理に関する事
- (3) 身体各部の状態の理解と養護に関する事
- (4) 健康状態の維持・改善に関する事

### 2 心理的な安定

- (1) 情緒の安定に関する事
- (2) 状況の理解と変化への対応に関する事
- (3) 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事

### 3 人間関係の形成

- (1) 他者とのかかわりの基礎に関する事
- (2) 他者の意図や感情の理解に関する事
- (3) 自己の理解と行動の調整に関する事
- (4) 集団への参加の基礎に関する事

### 4 環境の把握

- (1) 保有する感覚の活用に関する事
- (2) 感覚や認知の特性への対応に関する事
- (3) 感覚の補助及び代行手段の活用に関する事
- (4) 感覚を総合的に活用した周囲の状況の把握に関する事
- (5) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事

### 5 身体の動き

- (1) 姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
- (2) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用に関する事
- (3) 日常生活に必要な基本動作に関する事
- (4) 身体の移動能力に関する事
- (5) 作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事

### 6 コミュニケーション

- (1) コミュニケーションの基礎的能力に関する事
- (2) 言語の受容と表出に関する事
- (3) 言語の形成と活用に関する事
- (4) コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
- (5) 状況に応じたコミュニケーションに関する事

「自立活動編」には、それぞれの項目についての説明と具体的な指導内容例が示されています。





## ポイント ②

療育活動内容を並べる



# 療育活動の系統化

## 活動のねらい

- 発達的特質
- 個人的特質

## 活動の形態

- 集団活動
- 個別活動
  - ・ 身辺自立スキル
  - ・ ソーシャルスキル

## 系統の期間

- 年齢（発達）
- 学校種別
- 年・月・週

## その他

- 生活年齢・発達年齢
- 将来の進路



# ねらいの整理

# 事業所として

ねらい

時期

4月  
～  
3月

～ [ ] のテーマ・年間行事～

4月～6月      7月～9月

～出会い 自分を知る～      ～友達を知る～

- ・個別相談会
- ・講演会
- ・工場見学
- ・ながしそうめん
- ・保護者様と一緒にBBQ

10月～12月      1月～3月

～関係を築く～      ～新しい出会いに向けて！～

- ・ハロウィン
- ・社会見学
- ・クリスマス会
- ・もちつき大会
- ・講演会
- ・保護者会
- ・個別相談会

～週間行事～

施設名	月曜日	火曜日	水曜日

## 2020年 3月 活動予定表

日	活動内容	持ち物	算入/脳弁当	支援目的	S-M
1 日					
2 月	感覚統合 指先エクササイズ		●	指先の運動	74
3 火	買い物活動 駄菓子屋ひかり		○	買い物遊び	40
4 水	感覚統合 ひかり/すてっぶ:目隠チャレンジ ねくすと:リミック		●	—	
5 木	SST じゃんけんゲーム		●	いろいろな遊び方	63
6 金	工作 作って遊ぼう			道具の貸し借りができる	47
7 土	SST 運動 ポールでレクリエーション ハドル・スポーツクラブ		○	ルールを守って遊ぶ	31
8 日					
9 月	SST クイズに挑戦		●	意見を伝えることができる	63
10 火	SST ゲームdeおやつ		○	順番を守る	31
11 水	感覚統合 ひかり:リミック / ねくすと:体操 すてっぶ:体力測定		●	—	
12 木	工作 お部屋を飾ろう		●	道具を正しく使える	41
13 金	感覚統合 サイレントゲーム			静かにできる・注視する	20
14 土	感覚統合 運動 リズムゲーム ハドル・スポーツクラブ		○	合図に合わせて遊ぶ	61
15 日					
16 月	工作 4月のカレンダーを作ろう		●	はさみの使い方	48
17 火	買い物活動 駄菓子屋ひかり		○	買い物遊び	40
18 水	感覚統合 ひかり:体操 / ねくすと:リミック すてっぶ:アイロンビーズ		●	—	
19 木	SST チームで遊ぶ		●	協力して楽しむ	78
20 金					
21 土	感覚統合 運動 音楽遊び ハドル・スポーツクラブ		○	集団遊び	83
22 日					
23 月	感覚統合 バランスゲーム		●	からだの使い方	41
24 火	工作 花飾りを作ろう		○	いろいろなどを考える	39
25 水	訓練 避難訓練		● ○	静かに話が聞ける	37
26 木	外出活動 体育館で遊ぼう	体育館シューズ	● ○	順番を守る	30
27 金	買い物活動 ドーナツを買いに行こう	お財布	×	買い物の計画を立てる	94
28 土	外出活動 ひかり:おつかいミッション ねくすと:地域交流会		○	—	
29 日					
30 月	クッキング おやつクッキング	クッキングセット	● ○	簡単な調理ができる	101
31 火	イベント お楽しみ会		○ ○	約束を守って楽しむ	71

クッキングセット      お財布      ハドル・スポーツクラブ  
エプロン・三角布・マスク・ハンドタオル      お財布にお金を入れてくる      運動しやすい服装・タオル  
・多めのお茶(水)

※ 弁当: ○ 注文または持参  
          × クッキングのため不要  
※ 都合により予定変更する場合があります。  
・算数教室及び脳機能バランスの申込はHUG上の備考欄にてお願いします。



# ねらいの整理

# 事業所として

2020年		年間行事		
	四半期目標	創作活動	心理面談裏プロ・イベント	誕生日
4月	自己課題 自己を見つける。自身の ことと向き合う。	●お守りづくり	○心理劇 役を演じるということに なれる	[ ]
5月		●スクイーズづくり ～握って安心、フワフワス クイーズ～		
6月		●立体アートづくり ～自分の世界を箱に表現～		
7月	自己:集団 集団の中に存在する意 識しながら、自身の役 割的意識を芽生えさせ る。	●夏祭り創作	◆ 夏祭り	
8月				
9月		●創作物語リレー ～物語をつなぐ～		
10月	集団に対する意志 的な行動の芽生え 集団の中に対する自己 ポジションの確立	●陶芸器づくり	◆ハロウィンイベント	
11月		●草木染め体験		
12月		●身だしなみミラーづくり ～お気に入りの鏡で身だしなみ を整える～	◆クリスマスイベント ～1年の集大成をみせる～	
1月	自己の統合 「〇〇が出来た」「△ △は出来なかった」な どの両面的な感情の受 容。自己の成長を振り返 る。	●初筆書き体験 ～私・僕の1年はどうする?～		
2月		●革細工キーホルダー ～誰に贈る?～	◆節分イベント	
3月		●香り袋づくり ～かいで落ち着く～	◆ 卒業式	

2020年		年間行事		
	四半期目標	創作活動	作業学習・イベント	誕生日
4月	<慣れる時期> ・生活リズムを整える ・不安を軽減	□ソルトペインティング (江口) (情緒の安定)	□サーキット □体幹トレーニング	[ ]
5月		□ボトルドーム(山田) (不安癒す)	□サーキット □体幹トレーニング	
6月		□クレイアートクッキーマ グネット(江口) (創造性・巧緻性)	□サーキット □体幹トレーニング	
7月	<体づくり> ・粗大運動で自己の 体の意識作りと、コ ントロールを回る		□サーキット □体幹トレーニング ■音楽療法(リトミック)	
8月			□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り(作業学 習)	
9月		□叶①創作活動への挿絵書 き(江口) ストレス軽減、発信	□サーキット □体幹トレーニング (■音楽療法(リトミック))	
10月	<整える時期> ・実習等が始まり リズムが乱れる予 想、安定できるグッ ズや行事等を通して 変わらない安心を得 る	□空き缶ペイント(松尾) (感覚課題・育成によるリ ズム作り)	□サーキット □体幹トレーニング	
11月		□アドベントカレンダー作 り(安田) (見通しの安 心)	□サーキット □体幹トレーニング	
12月		□門松作り(江口) (1年の締めくくりの意 識を持つことでリズムを作 る)	□サーキット □体幹トレーニング	
1月			□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り (作業学習)	
2月	<来年度へ向けての 意識作り> ・心構え ・自己成長の振り返 り	□つるしびな(安田) (季節の意識)	□サーキット □体幹トレーニング ■節分イベント「豆まき」(山 田)	
3月		□アルバム作り(坂口) (自分の成長を確認する)	□サーキット □体幹トレーニング □お別れ会 3月29日	

# 定型発達の2つの視点

## 課題分析・分類のポイント

【2つの面から特質を把握する】

### ① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

### ② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度一意欲の特質

### ① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- 知的発達
- 社会性の発達
- 自我の発達
- 基本的欲求の発達

#### さまざまな発達理論

- フロイトの心理学的発達理論
- ゲゼルの成熟優位説
- 行動主義の学習理論
- ピアジェの発生的認識論
- バンデューラの社会的認知理論
- エリクソンの社会的発達理論 など

## ① 発達的特質の理解

### 【身体障害の種別】

・ **身体的発達**

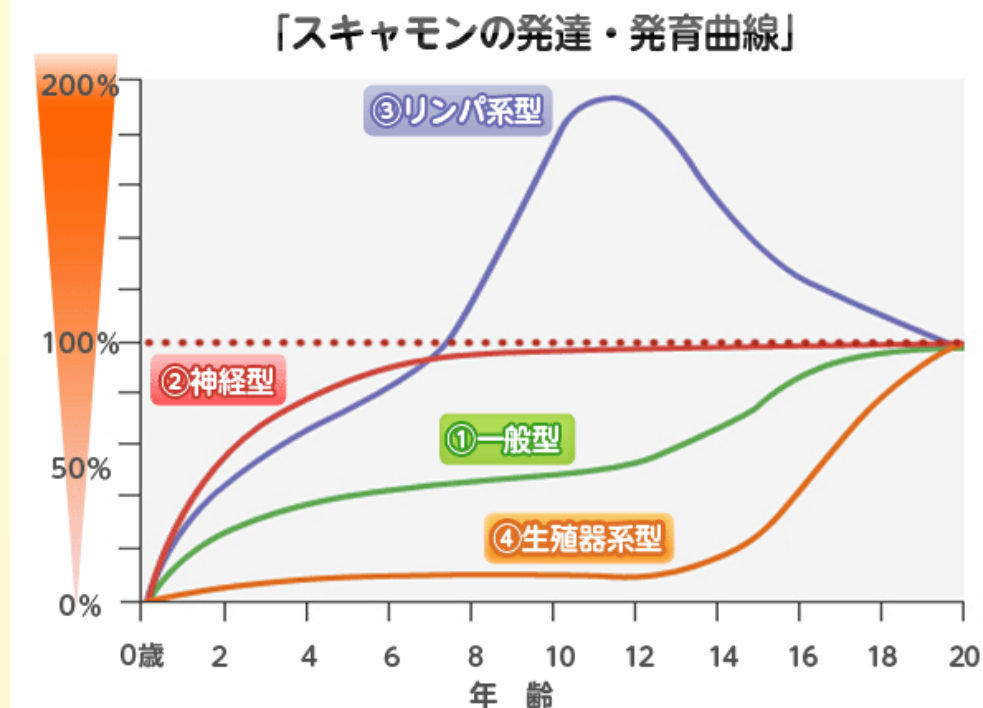
・ 知的発達

・ 社会性の発達

・ 自我の発達

・ 基本的欲求の発達

- ・ 視覚障害
- ・ 聴覚障害
- ・ 音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害
- ・ 肢体不自由
- ・ 心臓、じん臓又は呼吸器の機能の障害



### ① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- **知的発達**
- 社会性の発達
- 自我の発達
- 基本的欲求の発達

- 言語理解
- 知覚推理
- ワーキングメモリ
- 処理速度

WISC-IV

- 結晶性領域
- 流動性領域
- 記憶領域
- 論理推理

田中ビナーV



- ▶ 医療関係検査 ▶ 個別式検査 ▶ 学校用検査 ▶ 企業用検査 ▶ 書籍紹介 ▶ 特別支援関連
- ▶ 医科診療報酬点数適用心理検査 ▶ コミュニケーションツール ▶ 箱庭療法・心理療法

ご注文 見積のご依頼 資料のご請求 カタログダウンロード お問い合わせ

## 商品とサービス紹介

### ▶ 医科診療報酬点数適用心理検査

こちらから一覧をご覧ください。

### ▶ 医療関係検査

クリニック、病院関係(心療内科、小児科)でご利用いただいている検査をご紹介します。

- 心療内科関係の検査
- 小児科関係の検査
- リハビリ関係の検査

### ▶ 個別式検査

医療・教育などの臨床・研究で使用する検査をご紹介します。

## HOT!



### WAIS-IV知能検査

8月30日発売！ご注文承ります。

画像提供: 日本文化科学社



### SRS-2対人応答性尺度

日本文化科学社より2017年12月20日発売！自閉スペクトラム症(ASD)と関連する症状を測定する検査です。

画像提供: 日本文化科学社



### 日本版 WPPSI-III知能検査

日本文化科学社より2017年12月22日発売！

画像提供: 日本文化科学社



### CCC-2子どものコミュニケーション・チェックリスト

日本文化科学社より2016年11月発売！コミュニケーションにおける言語的な側面を評価します。

画像提供: 日本文化科学社

▶ 知能検査	▶ 投影法検査
▶ 親子関係検査	▶ 不安・ストレス関係検査
▶ 発達関係検査	▶ 老人精神機能測定・リハビリ関係検査
▶ 言語関係検査	▶ 精神作業検査
▶ 職業適性・興味検査	▶ 健康調査・メンタルヘルス関係
▶ 言語訓練・失語症・教材セット	▶ スポーツ競技関係検査
▶ 性格・人格検査	▶ 読書力検査



各種検査の  
カテゴリ・領域  
を知る



# 系統化の視点

## 【特質を考える視点（①発達）】

検査名	対象年齢	検査カテゴリ等
新版K式発達検査	0～13	「姿勢・運動」「認知・適応」「言語・社会」
田中ビネー検査	2～成人	「思考」「言語」「記憶」「数量」「知覚」
ウェクスラー式知能検査		「言語理解」「視覚空間認識」「流動性推理」「ワーキングメモリ」「処理速度」 W P P S I (3～7.3) W I S C V (6～16) W A I S (16～)
K A B C - II	2.6～ 12.11	「認知(継次 同時 学習 計画)」「習得(語彙 読み 書き 算数)」
D N - C A S 認知評価	5～17.11	「プランニング」「注意」「同時処理」「継次処理」
P V T - R 絵画語彙発達	3～12.3	「語彙理解力」
I T P A 言語学習能力	3～9.11	「言葉の理解」「絵の理解」「言葉の類推」「絵の類推」「言葉の表現」
構音検査	幼～成人	「単語」「音節」「音」「文章」
L C スケール	学齢期	「文・文章聴覚理解」「語彙定型句の知識」「発話表現」「柔軟性」「リテラシー」
L D I - R	小1～中3	「基礎学力(聞く 話す 読む 書く 計算 推論 英語 数学)」「行動」「社会性」
描画検査		投影検査の一種：バウムテスト H T P テスト
投影検査		絵や写真への反応：ロールシャッハテスト T A T (主題統覚検査)
質問紙検査		質問への回答から：Y G 検査 M M P I (ミネソタ多面人格目録) など
作業検査法		作業の結果から：内田クレペリン検査 ベンダーゲシュタルトテスト



### ① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- 知的発達
- **社会性の発達**
- 自我の発達
- 基本的欲求の発達

- コミュニケーション
- 日常生活スキル
- 社会性
- 運動スキル
- 不適応行動

Vineland-II

- 身辺自立
- 移動
- 作業
- コミュニケーション
- 集団参加
- 自己統制

S-M社会生活

## 特別活動って どんな教育活動なの？

特別活動は、子どもたちの自治的な能力や自主的な態度を育て、学力向上の基盤に必要な望ましい人間関係を築き、いじめや不登校などの問題に対する予防的な役割を果たすなど、子どもたちの成長に欠かせない教育活動です。

### 特別活動の目標

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

望ましい集団活動とは  
以下のような活動です。

- ◆活動の目標をみんなでつくります。
- ◆目標達成の方法を話し合って決めます。
- ◆役割分担をし、協力して取り組みます。

学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事は、望ましい集団活動を展開することが前提です。

小学校学習指導要領解説 特別活動編 p8

### 目標

### 特質 意義

### 内容

### 特質は？

#### 集団活動であること

よりよい生活や人間関係を築くために、目標やその達成の方法や手段などを決め、みんなで役割を分担してその実現を目指す協働的な集団活動です。

#### 自主的な活動であること

自ら楽しく豊かな学級や学校の生活をつくりたいという課題意識をもって、指示待ちではなく、自分たちで問題を見付けたり話し合ったりして解決するなど、「子どもたちによる、子どもたちのための活動」です。

#### 実践的な活動であること

楽しく豊かな学級や学校の生活づくりのための諸問題を話し合ったり、話し合いで決めたことに友達と協力して取り組み、反省を次に生かしたりするなど具体的に実践する活動です。

### 教育的意義は？

- 自分たちで生活の諸問題を解決しようとするたくましい子どもが育ちます。
- 子ども相互、子どもと教師との人間的な触れ合いが深まります。
- 友達と協力して、チームで活動しようとする子どもが育ち、いじめ問題等の未然防止に役立ちます。
- 切磋琢磨できるよりよい人間関係が育ち、効果的に学力を向上するための土壌づくりになります。
- 共生社会の担い手としての豊かな人間性や社会性を身に付けることができます。

特別活動に期待されることって何？ ..... 04

#### 学級活動(1) 学級や学校の生活づくり

学級会をどう指導するの？

学級会の事前の指導は？ ..... 05

学級会の時間の指導は？ .....06.07

学級会の事後の指導は？ ..... 08

係活動をどう指導するの？ ..... 09

#### 学級活動(2) 日常生活や学習への適応及び健康安全

目標をもって生活できるようにするには？ .....10,11

生活上の課題をどう授業にするの？ .....12,13

児童会活動をどのように子どもの活動にするの？ ..... 14

クラブ活動をどのように子どもの活動にするの？ ..... 15

学校行事で学校生活をどのように豊かにするの？ .....16,17

#### 教室経営の工夫で

特別活動をどのように充実させるの？ .....18,19

特別活動の充実で学校はどう変わるの？ ..... 20

## 【特別活動のねらい】

望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

### 日常生活の指導 年間計画

#### 【目標】

- ・ 1 「基本的な生活習慣」…日常生活に必要な身近自立をする
- ・ 2 「健康・安全」…健康で安全な生活をする
- ・ 3 「遊び」…友達とかかわりを持ち、きまりを守って遊ぶ
- ・ 4 「交際」…身近な人と自分とのかかわりが分かり、簡単な応対などをする
- ・ 5 「役割」…集団活動に参加し、簡単な役割を果たす
- ・ 6 「手伝い・仕事」…日常生活で簡単な手伝いや仕事をする
- ・ 7 「きまり」…日常生活に必要な簡単なきまりやマナーを守って行動する
- ・ 8 「日課・予定」…日常生活でおよその予定が分かり、見通しをもって行動する
- ・ 9 「金銭」…簡単な買い物をして金銭の扱いに慣れる
- ・ 10 「自然」…自然や生き物への興味や関心を高める
- ・ 11 「社会の仕組み」…家族や身近な地域の様子に興味や関心をもつ
- ・ 12 「公共施設」…身近な公共施設や公共物などを利用し、その働きを知る

#### ※段階別目標について

- 1 段階…教師と一緒に行動
- 2 段階…教師の援助を受けながら
- 3 段階…自分で

### 基本的な生活習慣（きほんてきせいかつしゅうかん）

基本的な生活習慣は、子どもが心身ともに健康に育つために生活の基盤となるもので、日常生活の基本となる食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の5つの生活習慣のこと。

「まいと」では、食事・睡眠・排泄・清潔・衣服の着脱の基本的な生活習慣に挨拶・片付けを加え指導しています。

小学校就学までの目標。

- \* 食事は、箸を使って自立して食事をする、好き嫌いなく食べることができるようにする。
- \* 睡眠は、決まった時間に寝起きし質のよい睡眠がとれるようにする。
- \* 排泄は、一人ででき後始末も一人でできるようにする。
- \* 清潔は、手洗い、うがい、歯磨き、入浴など、体の清潔を自ら保つことができるようにする。
- \* 衣服の着脱はボタン・ファスナー・リボンなどがあっても一人で着脱できるようにする。
- \* 状況にあった挨拶ができるようにする。
- \* 身の回りの片付けが一人でできるようにする。

### ① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- 知的発達
- 社会性の発達
- **自我の発達**
- 基本的欲求の発達

### エリクソンの発達段階



# 系統化の視点

# 【特質を考える視点（①発達）】

小学校				中学校
小学校 1・2年	小学校 3・4年	小学校 5・6年		
<b>1 主として自分自身に関すること</b>				
(1) 基本的な生活習慣	(1) 基本的な生活習慣	(1) 基本的な生活習慣・節度節制	(1) 基本的な生活習慣・調和のある生活	
(2) 勤勉努力	(2) 勤勉・粘り強さ	(2) 希望・勇気・努力	(2) 希望・勇気・強い意志	
(3) 善悪の判断・勇気	(3) 善悪の判断・勇気	(3) 自由・自律・責任	(3) 自主自律・誠実・責任	
(4) 正直・明朗	(4) 正直・明朗	(4) 誠実・明朗	(4) 真理愛・理想の実現	
	(5) 個性の伸長	(5) 真理愛・創意工夫	(5) 向上心・個性の伸長	
		(6) 個性の伸長		
<b>2 主として他の人とのかかわりに関すること</b>				
(1) 礼儀	(1) 礼儀	(1) 礼儀	(1) 礼儀	
(2) 思いやり・親切	(2) 思いやり・親切	(2) 思いやり・親切	(2) 人間愛・思いやり	
(3) 友情	(3) 信頼友情	(3) 信頼友情・男女協力	(3) 信頼友情	
		(4) 真容・謙虚	(4) 異性の理解	
(4) 感謝	(4) 尊敬・感謝	(5) 尊敬・感謝	(5) 真容・謙虚	
			(6) 尊敬・感謝	
<b>3 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること</b>				
(1) 生命尊重	(1) 生命尊重	(1) 生命尊重	(1) 生命尊重	
(2) 自然愛・動植物愛護	(2) 自然愛・動植物愛護	(2) 自然愛・環境保全	(2) 自然愛・畏敬の念	
(3) 畏敬の念	(3) 畏敬の念	(3) 畏敬の念	(3) 弱さの克服・生きる喜び	
<b>4 主として集団や社会とのかかわりに関すること</b>				
(1) 規則尊重・公德心	(1) 規則尊重・公德心	(1) 公德心・規則尊重・権利義務	(1) 法の遵守・権利義務	
		(2) 公正公平・正義	(2) 公德心・社会連帯	
		(3) 役割と責任の自覚	(3) 正義・公正公平	
(2) 勤労	(2) 勤労	(4) 勤労・奉仕	(4) 役割と責任の自覚	
(3) 家族愛	(3) 家族愛	(5) 家族愛	(5) 勤労・奉仕・公共の福祉	
(4) 愛校心	(4) 愛校心	(6) 愛校心	(6) 家族愛	
(5) 郷土愛	(5) 郷土愛	(7) 郷土愛・愛国心	(7) 愛校心	
	(6) 愛国心・国際理解	(8) 国際理解・親善	(8) 郷土愛	
			(9) 愛国心	
			(10) 国際理解・人類愛	

## 【道徳のねらい】

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの**道徳性を養うこと**とする。

### ① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- 知的発達
- 社会性の発達
- 自我の発達
- **基本的欲求の発達**

### マズローの欲求5段階説

